

別表第2

1 評価基準

A	達成されている。
B	ほぼ達成されている。
C	あまり達成されていない。
D	達成されていない。

自己評価シート

自己評価数 26名

2 評価項目

(1)学校の全体について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	R7 2学期		R7 1学期		
			評価	割合	評価	割合	
① 学校の姿	学校の教育方針や情報などが、学校報などで保護者(地域)に分かりやすく伝えられているか。	●学校の指導方針がわかりやすいか。 ●学校の情報が、分かりやすく伝えられているか。	A	85.0	・校長だより、ホームページ、学校メールなどで適切に発信されていると思う。 ・「オーバー・ザ・てっぺん」がスローガンとして浸透していると思います。	A	80.8
			B	15.0		B	19.2
			C	0.0		C	0.0
			D			D	
② 児童・生徒の姿	学校生活において、児童は生き生きと活動しているか。	●学校行事において協力し合って活動しているか。 ●生き生きと活動しているか。	A	40.0	・運動会などの行事ではそれぞれが前向きに取り組んでいる。日頃の生活では、一部で全体の流れに乗れない児童がいる。 ・勝負ごとになると、より一層協力し合い、積極的に活動する姿が見られた。羽咋小学校では、長年続いている伝統的な活動もあるが、一部ではマンネリ化している場面も見受けられる。時代や児童の現状に合わせて、こうした活動もアップデートしていく必要があると感じる。	A	61.5
			B	60.0		B	38.5
			C	0.0		C	0.0
			D			D	
③ 教職員の姿	教職員は、お互いに協力しながら児童の指導をしているか。また来校者に誠実な対応をしているか。	●学校行事において協力し合って指導している場面が見られるか。 ●進んであいさつや、言葉かけをしているか。	A	80.0	・風通しのよい職場だと思う。場を設定しなくても、自然と相談できていると思う。 ・羽咋小学校は若手が多いが、若さに対して付度することなく、各自それぞれの持ち場で頑張っている。	A	84.6
			B	20.0		B	15.4
			C	0.0		C	0.0
			D			D	
④ 学校の環境整備	学校内外の環境整備が行き届いており、児童が快適で安全に学校生活が送れるようになっているか。	●環境美化に対する配慮が見られるか。 ●学校全体が、整理・整頓されているか。 ●学校全体の安全が確保されているか。	A	50.0	・仕方がないが、廊下の雨漏れが見られる。 ・古い校舎ですが、共有使用部分の維持管理が徹底されています。 ・常に教頭先生や松本さんが、修繕や美化に取り組んで下さっている。 ・近年猛暑日が多くなり、エアコンが使用できる教室が少ないため、クラス分け学習ができない。	A	26.9
			B	45.0		B	69.2
			C	5.0		C	3.8
			D			D	

(2)授業の様子について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	R7 2学期		R7 1学期		
			評価	割合	評価	割合	
⑤ 児童・生徒の姿	児童が学習内容を理解しようと意欲を持って学んでいる様子が見られるか。	●授業中、教師の話や友達の発表をしっかり聞いているか。 ●学習ルールが守られ、良い雰囲気での学習しているか。	A	35.0	・他の学年がいると集中して学習をしてくれますが、自分達(1学年)だけだと我慢がきかない傾向にあります。もう少し落ち着いて学習できるように成長させたいです。 ・学級間に差があるかも知れない。 ・学年、クラスによって、若干の差が見られますが、1学期と比べればその差は縮まったと思います。 →肯定的な意見もあるが、様々なバックグラウンドをもつ児童も増えており、より一層の指導・共通実践の充実が必要である。	A	42.3
			B	60.0		B	53.8
			C	5.0		C	3.8
			D			D	
⑥ 教職員の姿	児童が学習内容を理解できるようなわかりやすい授業であるか。	●児童一人一人に言葉かけをするなど適切な指導の工夫をしているか。 ●授業の内容が黒板にわかりやすく書かれているか。	A	55.0	・個々の状況に応じたサポートを、支援員の先生と情報共有しながら対応している。	A	46.2
			B	45.0		B	50.0
			C	0.0		C	3.8
			D			D	

(→裏面へ)

(3)授業以外の様子について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	評価	割合	所見・感想	評価	割合
⑦ 児童・生徒の姿	児童は、集団生活に必要なきまりや約束を守っているか。	●元気にあいさつができていますか。 ●登下校時等には、正しい服装や決まりある行動をしているか。	A	30.0	・校内や校地内において、先に挨拶をする児童が少ない。 ・注意をしても直さない児童が一定数見受けられます。(ろうかを歩く、かかとを入れる、階段から飛ぶなど) ・挨拶がよくなってきていると感じる。 ・進んで「元気な」あいさつができる児童が少なく感じる。 ・あいさつにおいては、“元気に先あいさつ”が徹底されていないように感じる。個人によって差が見られる。 ・児童のあいさつに個人差が目立ちます。先挨拶をする子が増えればと思います。 ・教師からの一声の上で成立している感がある。 →改善が見られる部分もあるが、生徒指導部と連携しながら、挨拶やルールを守ることを徹底していく。	A	15.4
			B	60.0		B	76.9
			C	10.0		C	7.7
			D			D	
⑧ 教職員の姿	教職員は、児童の手本となる言動を行っているか。	●児童に対し、正しい言葉づかいがされているか。 ●TPOに応じた服装をしているか。	A	50.0	・呼び捨てしないよう気をつけたい。	A	57.7
			B	50.0		B	42.3
			C	0.0		C	0.0
			D			D	

(4)保護者・地域との連携について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	評価	割合	所見・感想	評価	割合
⑨ 教職員と保護者との関係	教職員は、保護者や地域の方と連携しているか。	●学校は、地域の活動に協力的であるか。 ●教師と保護者の関係は良好か。	A	70.0	・様々な困り感をもつ児童の保護者に対して、親身に相談に乗っている。	A	61.5
			B	30.0		B	38.5
			C	0.0		C	0.0
			D			D	
⑩ 教育活動の地域活用	学校は、地域の人材、施設、歴史、自然などを教育活動に活用しているか。	●学校は、地域の(歴史、自然)を活用しているか。 ●学校サポート体制が構築されているか。	A	75.0	→地域とつながる教材開発やボランティアセンターの開設によって、コミュニティスクールを見据えた活動が活発化してきた。	A	46.2
			B	25.0		B	53.8
			C	0.0		C	0.0
			D			D	

(5)独自の特色ある教育活動について

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	評価	割合	所見・感想	評価	割合
⑪ 市基礎学力調査	数値目標の達成に向け、具体的取組や指導法の改善が行われているか。	●結果の分析を行っているか。 ●結果を生かし工夫改善をしているか。	A	80.0	→英検5級だけでなく、中学生が目指す級にもチャレンジする児童が増えており、保護者の意識も高まっている。	A	61.5
			B	20.0		B	38.5
			C	0.0		C	0.0
			D			D	
⑫ 教育活性化プラン	数値目標の達成に向け、具体的取組が行われているか。	●日常的に英語を使おうとしているか。 ●ICT活用に積極的に取り組んでいるか。 ●人材育成に向けて、組織的に取り組んでいるか。	A	80.0		A	84.6
			B	20.0		B	15.4
			C	0.0		C	0.0
			D			D	